

第1回三条市食育推進及び農業振興審議会 会議録

- 1 日 時 平成23年5月26日(木) 午後1時30分～3時25分
- 2 会 場 三条市役所2階 大会議室
- 3 出席委員 粟生田忠雄 上村旭 西光明 皆川邦子 外山迪子 豊岡睦子 樋口洋平
星野正義 渡邊久美 小山歌子 内田芳文 小林武良 六原佳子
- 4 欠席委員 小林茂宏 五十嵐大光
- 5 説明のための出席者
(事務局) 長谷川経済部長 平岡農林課長 波多野健康づくり課長 捧健康づくり課主幹
板垣地産地消推進室長 田村食育推進室長 佐藤主任 相沢主任
大泉技師
- 6 傍聴者 なし
- 7 報道機関 新潟日報新聞社
- 8 議 題
(1)会長の選出
(2)副会長の選出
(3)三条市農業活性化プランについて
(4)三条市食育推進計画について
(5)第2次三条市農業活性化プラン策定について
(6)その他
- 9 開 会 午後1時35分(委員の過半数出席により会議成立)
- 10 委嘱状の交付 長谷川経済部長から委員へ委嘱状交付
- 11 経済部長あいさつ
- 12 委員自己紹介と事務局紹介
- 13 経過と質疑
(1)会長の選出
事務局 会長の選出まで議事進行を私が行います。それでは議題1に入らせていただきます。会長の選出については、審議会規則第2条により、会員の互選となっております。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。
(事務局一任の声)
事務局 ただいま、事務局一任という声がありましたが、それでよろしいでしょうか。では、事務局案を申し上げます。会長は粟生田委員にお願いしたい

事務局	と考えております。 (異議なし)
栗生田会長	ご異議ありませんので、栗生田委員に会長をお願いいたします。栗生田会長、あいさつをお願いします。 ぜひ三条市の食育と農業の推進のために微力ながら尽力していきたいので、よろしくをお願いします。

(2)副会長の選出

栗生田会長	副会長の選出は会員の互選となっておりますが、いかが取り計らいましょうか。皆様にご意見がないようであれば、私から指名させていただいてよろしいでしょうか。 (異議なし)
栗生田会長	ご異議がなければ、副会長は内田委員をお願いしたいと考えております。 (異議なし)
栗生田会長 内田副会長	ご異議ありませんので、内田委員に副会長をお願いいたします。 三条市の未来を担う子どもたちのことを視野に、精一杯がんばりたいと思います。

(3)三条市農業活性化プランについて

～資料1、1-2、1-3について事務局(板垣地産地消推進室長)説明～

質疑応答

樋口委員	地産地消の商品を販売する場合にはどこから入手したらよいのか分からないので、教えてもらいたい。
板垣室長	現在調査をしているところで、一部のスーパーでは地産地消の商品を出しているが、量が少ない。円滑な流通ができるよう今後検討していきたい
西委員	販路開拓の部分で、インターネット直売を考えているようだが、具体的な商品名はどんなものがあるのか。
板垣室長	計画策定時点で考えていたものは米で、その他の商品については今後検討していく。
豊岡委員	資料1-2の女性起業者数があがっているが、具体的にどのような起業をされた方なのか。また、活動費に対する補助金はあるのか。
板垣室長	米粉を使ったパンを製造販売されている方。補助金として市からは出していない。
六原委員	この計画では農業というと畜産などは含まれているのか。
板垣室長	畜産も含めて考えている。
小林委員	先ほど西委員が質問された件についてだが、森町でさつまいもをインターネット販売している方がいる。その方から聞いた話だとインターネット

西委員 下田を知り、東京からさつまいもを買いに来てくれる方がいるそうだ。今の状況の中でよい販売方法だと思っている。みなさん勉強して取り入れようとしている方が多い。

板垣室長 個々でインターネット販売している方もいらっしゃるの、調査によって実態を把握していきたい。

星野委員 資料No.1 - 2で、海外販売しているのは1件か、1種か。

板垣室長 1ルート開拓しており、取引先は中国。JAで収集した米を扱っている。

栗生田会長 先ほど楽農者数の件で、今後検討が必要ということだったが、どのような位置づけで今後の農業振興、食育に結び付けていくのか説明をお願いしたい。

板垣室長 みんなで農業体験講座では24人ほどいるが、芋ほりなど農業の手伝いをお願いすることで、農業に理解いただける方を増やそうという考えでいる。

栗生田会長 全国各地で農村部の高齢化、人口減少が問題になっているが、新規就農者がある場合には、有機農業や若手がいたりということが見られる。きっかけは何かというと、お客様として農業に関わってもらうのではなく、しっかりと農業を体験し、農業に目覚めて新規就農するパターンが見られる。新規就農を目指した取組なのか、農作業体験ということなのか、事業の考え方や進め方によって結果が違ってくるので、整理して取り掛かったほうが良いと思う。

板垣室長 位置づけとして、しっかりと農業を体験してもらうというよりは、農業を楽しむという意味合いだったので、検討していきたい。

樋口委員 最近、家庭菜園が流行っているが、市で土地を貸していることについて、会報等で知らせているのか。また、人気はあるのか。

板垣室長 広報さんじょうで知らせている。人気もあり、サンファームでは90%以上の区画が埋まっている。

樋口委員 楽しみながら農業ができる環境が増えると、地元の野菜がどんどん出てくると思うので、積極的に取組んでもらいたい。

板垣室長 一つ課題があり、農地法等により農家以外が販売目的で生産することはできない。余ったものを売る程度は許されている。

六原委員 食べる側としては野菜ばかり、米ばかりでなく、なんでもバランスよく食べる必要がある。市としても上手にコーディネートしてもらいたいのだが、例えば乳清を飲ませるホエー豚なども出回っているが、三条で同様のことができないか。この辺りは米どころなので、米ぬかを食べた豚とか、特産のさつまいもを食べさせるなど、三条ならではの付加価値がつくと良い。インターネットで検索するにも特徴があると良い。何か魅力があると、後継者も育っていくと思う。

板垣室長	検討すべき課題で、高付加価値化を推進していきたいと思う。
小林委員	農業を体験することは下田の棚田をもつ米農家も熱心に取組んでいることだが、農業体験をしても、後継者が育たないのは、魅力がないということ。農業者を少しずつでも増やしていくために、サラリーマンであっても、農家が土地を貸して農業ができるように、指導してもらいたい。
板垣室長	頂いたご意見を踏まえて検討していきたい。

(4)三条市食育推進計画について

～事務局(大泉技師)より資料2, 3について説明～

質疑応答

渡邊委員	学校保健委員会に出席したときに、給食残量調査をするときに先生から今日は残量調査の日だからがんばって食べようという声かけがあるそう。そういう状態で調査をしても意味がないのではないか。
田村室長	平成12年から同じ形式で実施している。毎回先生は声かけをしているので同じ条件で同様のメニューを提供している中で残量が減っている。普段の食事も同様の傾向があると考えている。
豊岡委員	第2次三条市食育推進計画は、納得できるものである。食に関心のある人は一生懸命だが、スーパーに行くとき既製品をたくさん買っている若いお母さんがいる。悪いといわないが、忙しい人が簡単にできることはあるのか。
田村室長	意識を変えることは難しいが、母親になると意識が変わりやすい。特に保育所での取組はほとんど出席があり、学校での試食会や血液検査指導会などの取組にも参加がある。先日、スーパーに地産地消の実情を伺ったとき、学校や保育所の子どもをもつ母親は地場の野菜に関心を持っているという話であった。少しずつ意識が広がっていくのではないかと考えている。
六原委員	給食の残渣はどうしているのか。中学生は部活が終わると空腹になる。そこで、給食で残ったごはんをおにぎりにして、部活終わりに食べたらどうかという意見があった。
田村室長	学校給食の残渣についてはクリーン三条さんから回収してもらい、堆肥にしている。給食は集団として適量を出している。朝食を食べて生活リズムができていれば、昼食時には空腹になり給食は残さず食べられるはず。おにぎりについて、学校給食はできあがってから2時間以内に食べるという約束があるので、昼食時に残さず食べるようにしてもらいたい。
小林委員	私には孫がいるが、聞いた話によると残量調査以外でも、普段から給食をしっかりと食べるように先生から話があるようだ。
栗生田会長	この計画は、現状分析はできているが、どのように分析内容を認識して進めるかの考察が弱い気がする。今後の課題として39ページが計画の肝

になると思う。どのように受け止め、今後の課題にするか検討したほうがよい。

皆川委員

三条市食育推進計画の進捗状況を見ると、21年度までは数値は良くなっているが、22年度から全体的に数値が悪くなっている。理由等わかっているところがあったら教えてもらいたい。また、市民にどのように伝えていくのか決まっていたら教えてもらいたい。

田村室長

調査の対象が年度によって違うので一概には言えないが、マンパワーの減少など様々な要因が考えられる。このまま数値が上がるようであれば理由が見えるかもしれないが、現時点では理由は不明。周知については、学校や保育所に計画説明するとともに、市民に向けてはホームページに掲載して周知している。

小山委員

三条市は先駆けて食育推進計画を策定し、22年度には若干数字があがっているという状況もあるが、地道に取り組んでこられた結果が朝食欠食率の低下などに現れている。なかなか改善しない数値もあるが、すぐに結果が出るわけではないので、第2次の目標値に向かってよい結果が出るよう継続して取り組んでいただきたい。また、本日は様々な立場の方がいらっしゃるが、それぞれが協力しながら食育を推進していけるとよい。

(5)第2次三条市農業活性化プラン策定について
～事務局(板垣室長)から資料4について説明～

14 閉会 (午後3時25分終了)